

小平市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について（概要）

1 改正の理由

小平市立図書館の宅配貸し出しサービスは、平成27年11月から利用の要件を「65歳以上かつ要介護度3以上」として、ボランティアが図書館資料を月に一度宅配するサービスとして開始し、令和2年1月には、利用の要件を「要介護1以上の認定を受けている者」に緩和をした。

その後、市議会での請願の採択などを受けて、来館が困難な方の読書の機会を拡大することを目的として、令和4年10月から市内の一部区域を対象に、利用者の要件を「様々な理由で来館が困難な方」とした実証実験を行い、検証の結果、市の全域で利用者の要件を緩和して実施をすることが可能であるとの結論を得たことから、規則を改正するものである。

また、図書館協議会の委員の構成について、社会教育の関係者の参加の機会を拡大し、図書館運営の参考とすることを目的とした改正も併せて行う。

2 改正の内容

宅配貸し出しサービスの利用要件に、「市内の病院、施設等に入院又は入所をしている者」を加えるほか、介護保険法の規定に基づく認定を要するとした条件を改め、「心身の障害等の理由により図書館に来館することが困難な者」を対象とする。（第10条関係）

図書館協議会の委員構成のうち、社会教育の関係者を1名増の「5人以内」とし、学識経験のある者を1名減の「6人以内」とする。（第13号関係）

また、宅配貸し出しサービスにかかる様式を変更する。（別記様式第8号）

3 施行期日

令和5年4月1日

4 今後の予定

令和5年4月	1日	新制度でのサービス開始
	4月 5日	市報で広報
	4月13日	新制度での最初の宅配

図書館宅配貸出サービスの実証実験について

1 目的

宅配貸出サービスの利用者の要件を、様々な理由で来館が困難な方に拡大するにあたり、市内の一部地域で利用者の要件を拡大したサービスを行うことにより、令和5年度以降に市全域で実施していくための問題点や改善点を検証する。

2 期間

令和4年10月～令和5年3月

3 対象地区

小川町1～2丁目、小川西町1～5丁目、小川東町、小川東町1～5丁目、学園西町1～3丁目
人口約54,000人（市全体の人口の約28%）

4 新たに対象となる来館が困難な方の例

- ・ 心身の障がい、病気、高齢などで、来館が困難または重い本を持ち帰ることが困難な方
- ・ 出産前後やケガなどで、一定期間来館が困難な方
- ・ 自宅で常時介護をしていて、外出が困難な方
- ・ 市内の病院や施設に入院・入所している方

5 図書館宅配貸出サービスの対象拡大における問題点や課題

- ・ 宅配を実施するボランティアの人数不足（実証実験開始前で4人）
- ・ 制度拡大による登録人数の規模の把握
- ・ 業務の効率化
- ・ 想定を上回る登録があった場合の対応

6 検証結果

令和5年1月の登録者数

従前の制度による登録人数（市全域）	23人
要件拡大による新たな登録人数	11人

- ・ 実証実験の開始後、1月末までの時点で実証実験による新たな登録人数は11人である。
- ・ 実証実験での登録者の申し込み理由は、すべて「心身の障がい、病気、高齢などで来館が困難」であった。
- ・ ボランティアについては実証実験の開始時に新たに募集をし、4人から18人となったことから、事業実施上のボランティア不足の問題は解消された。
- ・ 市全域で実証実験と同内容のサービスを行った場合、人口比による推計から新たに20から30人の登録増となることが想定される。
- ・ 新規受付事務のうち、全申込者に行っていた事前訪問の一部省略や、ボランティアによる初回宅配時の職員の同行を省略することなどの事務軽減が可能
- ・ 登録者数がさらに増加した場合、毎月第2木曜日に指定している宅配日を追加することが可能

図書館協議会の委員構成について

図書館協議会は、図書館法第十四条の規定により、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関として設置されている。

図書館協議会の委員の任命基準は、図書館法第十六条で「文部科学省令で定める基準を参酌する」とされており、同法施行規則の第十二条において、「法第十六条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。」としている。これを受けて小平市立図書館条例施行規則では人数配分を含めて規定している。

小平市立図書館条例施行規則（抜粋）

（図書館協議会）

第13条 条例第9条第1項の小平市図書館協議会の委員の構成は、次のとおりとする。

- (1) 学校教育の関係者 3人以内
- (2) 社会教育の関係者 4人以内
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者 1人以内
- (4) 学識経験のある者 7人以内

図書館協議会の委員構成のうち、「社会教育の関係者」は4人以内としているが、多様な社会教育の関係者の参加を促進し、図書館運営の参考としたいことから、社会教育の関係者を1名増として「5人以内」とし、学識経験のある者を1名減として「6人以内」とする変更を行う。

過去の小平市図書館協議会委員構成

	規則上の人数	H25-26	H27-28	H29-30	H31-R2	R3-4
学校教育の関係者	3人以内	2人	2人	2人	2人	2人
社会教育の関係者	4人以内 ⇒5人以内	4人	4人	4人	4人	4人
家庭教育の向上に資する活動を行う者	1人以内	1人	1人	1人	1人	1人
学識経験のある者	7人以内 ⇒6人以内	5人	5人	5人	5人	5人